

道徳教育方法研究

第13号

2007

I. 研究論文

1. 自己を見つめる「在り方生き方」教育への視座

佐藤 光友

2. 子どもの道徳的判断の特徴から見た道徳教育の課題
—「対人葛藤」解決の理由づけの分析—

鈴木 由美子

3. 幼児期の道徳性の芽生えに関する研究
—幼児期の話し合いによる「問題解決の実践モデル」の構築—

林（前田）美代

4. 時間選好における道徳性の影響
—人間行動の一般的利得と道徳的利得の差異—

鎌水 浩

II. 実践研究報告

1. シチズンシップ教育・キャリア教育・環境教育『DVD教材／指導書』の開発(1)
—学校教育の諸課題と多主体協働型教育プログラムの意義について—

渡邊 満 / 中尾 豊喜 / 松吉 徹也 / 角野 綾子

III. シンポジウム 新しい道徳教育のあり方 —改正教育基本法を受けて、私ならこうする—

1. シンポジストの発表資料

(1) 創造する道徳教育の時代が来た！

上地 完治

(2) 自他のよさを実感する道徳学習をめざして

木下 美紀

(3) 道徳教育で私たちの学校や地域という社会に共に参画する

木村 慶

2. 司会者のまとめ

渡邊 満 / 小林 万里子

IV. 会務報告

V. 日本道德教育方法学会 会則

VI. 『道德教育方法研究』投稿規定

VII. 『道德教育方法研究』バックナンバー目次一覧

VIII. 欧文サマリー

編集後記